

令和6年度　こども園（保育園）関係者評価
園評価・評価委員最終評価シート
すずかけっこ保育園

こども園（保育園）関係者評価委員会による評価

対象評価： 最終評価
評価日時： 令和 7 年 2 月 12 日（金）9：30～

【こども園（保育園）関係者評価委員会構成】

学識委員 1 名　地域委員 1 名　保護者委員 2 名

【園の教育・保育目標】

「明るく のびのび 元気な子」
～一人ひとりのえがおを大切にしよう～
～子ども達に寄り添い心を豊かにする～

【本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した
保育園評価の具体的な目標や計画】

様々な人と出会い、夢中になって遊ぼう
～あこがれの気持ちや思いやりの心を育む～

天竜厚生会全体の教育・保育理念は「感性豊かで「生きる力」をそなえた子どもを育てるために」である。理念に基づいて、当園は「明るく
のびのび 元気な子」を教育・保育目標に掲げている。
今年度は、園内の大きい子や小さい子、そして地域の方々など、様々な人と出会い、夢中になって遊ぶ中で、あこがれの気持ちや思いやりの心
を育ていけるような教育・保育活動を展開していく。

【評価基準について】

- 4・・・十分に達成されていた
- 3・・・ほぼ達成されていた
- 2・・・取り組みは見られるが達成が十分ではない
- 1・・・取り組みが不十分であった

項目	園評価		評価委員最終評価	
	評価	評価理由	評価	評価理由（評価委員から）
I. 目標の理解 1. グランドデザインを理解している 2. グランドデザインを意識している 3. 重点目標を意識している 4. 重点目標を意識して取り組んでいる	3	重点目標については、夢中になって遊ぶ環境を整えるために子ども達の「つぶやき」を集め、そこから環境を考えた。個人においては毎月の振り返りシートでの反省や、クラスごと毎月の職員会議で発表する場を設けているため、意識はできている。前年の反省から今年度は職員会議を夕方から昼に2回（どちらかに参加）に変えることで全職員が参加することはできているが、時間が短いため、伝達事項が主で話し合いの場になっていない。グランドデザインは玄関に掲示し、周知を図った。また、職員一同参加の会議や研修の際に園長から説明を受けたが、自分で説明（理解）できない所もある。	4	重点目標に掲げた子どものつぶやきを見つけることは、職員研修にもなり、若い世代の職員の学びにも繋がる良い機会となったのではないかと感じる。また、つぶやきに耳を傾けることで、子どもの感性を知ると共に、職員の感性も磨かれたことを活動を通じて感じることができた。人との関わりを深めるために実施した職員交流は、新しいことへの挑戦として、今の時代に即した大事にしたい事柄であり、様々な観点から子どもを知り、子どもの良さに気づく良い経験であったと感じる。グランドデザインを自分の言葉で説明するという事は難しくても、本質の部分が周知されていて、職員全員が同じ方向を向いて取り組めていればよいのではないかと感じる。
II. 教育・保育の計画性と内容 1. 指導計画の作成 2. 環境への配慮 3. 教育・保育活動の実践 4. 計画と実践の評価・反省	3	季節の絵本を用意したり、野菜の収穫やクッキングを計画し、実践できた。指導計画を作成している職員やクラスの担任は意識して取り組んでいるが、他のクラスの指導計画・活動への意識が薄く、職員間の連携や異年齢交流が不十分になってしまった。環境（遊びや玩具、絵本コーナー等）の提供や整備が不十分な所があった。日々の保育の反省、運動会等の大きな行事の反省をクラスごとに出すようにしたが、振り返りの時間が取れず、反省が生かしきれていない所がある。	3	限られた中ではあるが、園で積極的に作物を育てる経験を取り入れることで、子どもが楽しみに保育園へ登園する姿に繋がっていた。環境構成については、送迎時に意識して見ていたが、保護者の目で見ても行き届いていたように思えたため改善がされていると感じる。絵本コーナーについては、乱雑となっていたという意見もあるが、子どもが絵本に興味を示し、絵本を自由に見ることができる環境の表れであるため、様々な年齢の子どもたちが絵本に親しんでいることがよく分かり、良い意味にとらえても良いと考える。また、絵本の整頓が気になる時には気づいた保護者が整頓しても良いのではないかと感じる。反省が生かし切れていないという意見もあるが、次の評価へ期待したい。

Ⅲ. 子どもにとっては 1. その子らしさが認められる 2. ゆったりとした生活 3. 自然に触れて心ゆくまで遊ぶ 4. いろいろな人の中で自分を知る	3	子どもたちの様々な姿を受け止め、寄り添いながら保育をしている。 学校からの発信が主であったが、小学生との交流が増えた。 0,1,2歳児が地域の方との交流があまり無かったので関わりを増やしていきたい。	4	来園すると、既製品ばかりでなく、手作りの物で溢れていてぬくもりを感じる。外部から見ても園の雰囲気が良い。職員が落ち着いたことで、子どもにも良い影響を与えているのではないか。 小学校との交流も増えつつあり、限られた時間の中でも交流できることは、互いに良い刺激や影響を受けやすい。今後も自然な交流が展開されるとよい。
Ⅳ. ファミリーにとっては 1. 気軽に相談できる 2. いつでも保育に参加できる 3. 必要な情報が得られる 4. 保育を通して地域に親しむ	3	保護者への伝達を丁寧に行う意識をしているが、早番や遅番の送り迎えの際に保護者対応の時間が重なり時間がかかってしまうことがある。毎日、担任が口頭で子どもの様子を伝える努力はしているが時間帯によっては難しさを感じる。必要な場合は個別相談の時間を取り個々に対応している。保育参加を行い、日々の園での様子を見てもらう機会を設け、個別面談をして家庭での様子を聞き、園と家庭とで連携を図れるようにした。	4	園で野菜を栽培する経験から、家庭でも野菜を育てたいという気持ちが育っていた。 送迎時、保育体制によりなかなか保護者とゆっくり話せない中、保護者の声に耳を傾け、必要に応じて面談の機会を設ける事で、気軽に相談できる関係が築けていると感じる。 保護者の少数の意見を大切に、大事にしていくことで更なる信頼関係に繋がっていくと思う。
Ⅴ. 地域にとっては 1. 誰でも親しく訪ねられる 2. 園の内容がよくわかる 3. 緊急の時頼りになる 4. 子育てに夢がもてるように	4	職業体験やサマーショートボランティアなどの地域の方と触れ合う機会が増えた。 園の見学者の方も希望日に沿うように受け入れ、丁寧に説明をしたり、気持ちの良い挨拶を心がけている。 ブログを通して園の様子を伝えられている。 業務の見直しをする中でブログの作成の時間を取り、定期的にあげることができた。	4	地域との関わりは限られているが、外部から見ても、子どもの声が多く聞こえる環境は良いと感じる。 様々な人との出会い、関わりの中で子どもに良い影響を与えていく為、園を開放し、地域の方にもっと園を見てもらう環境があるとよいと思う。
Ⅵ. スタッフにとっては 1. 個性が活かされる 2. 快適な職場づくり 3. 生活や遊びの文化が伝えられる 4. 視野を広げて自ら学ぶ	3	職員同士声を掛けやすい雰囲気があり、コミュニケーションはよく取れている。 有期契約者（パート）の職員も意見が言いやすく、自分や家庭を大切にしたい働き方ができている。 掃除の回数や分担を見直し、廊下と階段の掃除を増やし職員も意識するようにした。忙しさから、整理整頓が雑になることもあり、職員が意識したり、丁寧に物を扱ったりして子ども達へ伝えていく。	4	職員同士の雰囲気が良いため、子ども達も安心して快適に過ごせているのではないかと感じる。 職員の業務（書類関係）が多く感じられ、職員の負担となっていないか。負担軽減のためにも、タブレットの利用も検討してもよいのではないか。 業務をより良いものにしようとする気持ちは大切であるが、際限がなくなるため、少しでも職員の負担が軽減できるように時間を確保してほしい。 環境整備は課題であるとはなっていたが、アンケートを見て保護者の9割が満足していると回答しているため、できているとしても良いのではないか。